

猛暑の夏から、猛烈な会社に

株式会社榎戸材木店
会長 榎戸正人

まずは補足から。前号の投稿で新しく買ったエアコンのリモコンにタイマーが付いていないと書きましたが、写真をよく見ると「タイマー」と書かれた下に「切」「入」のボタンが写っています。タイマー、あるじゃないかと思われた方もいるでしょうが、これは「切」を1回押すと1時間後に電源が切れ、「入」を2回押すと2時間後に電源が入ると言うもので、私が求める、午前2時に電源が切れ、明け方の午前4時半に電源が入ると言う動作を毎日繰り返してくれる、本当の意味のタイマーではありません。あんな毎回セットしなくてはならないキッチンタイマーみたいなタイマーは使いません。

さて、そんなエアコン無しにはいられなかった猛暑の夏もようやく終わり、秋が近づいて来ました。今年の夏は観測史上最高の暑さで、日本だけではなく世界各地で最高気温を更新し、死者も多数出たようです。人間だけではなく、豚や鶏も多数が死亡したと伝えられていました。

農作物にも被害が広がり、我が家の家庭菜園でもミニトマトが8月半ばに暑さで枯れてしまいました。これはもう「暑さ」ではなく「熱さ」です。40年以上家庭菜園をやってきて、熱さでトマトが枯れたのは初めて。高温野菜のトマトは夏を乗り越え、10月初めまで実をつけてくれるのが普通なのに、今年の熱さは乗り越えられなかった……

さて、気温の熱さは峠を超えましたが、これからさらに熱くなるのが当社。新しく建て替える作業場兼倉庫の監修をアトリエ古川という設計事務所に頼むことにしました。当社の事務所の改装も手掛けてくれたのですが、やはり木造の大型建築物となると専門知識のある人に監修してもらわないと、建築業者の言いなりではアブナイ。

古川設計士は何回か当社に打ち合わせに来ましたが、回を重ねるほどに熱くなってきて、「材木屋のイメージを変える建物にして見せます。お任せください！」と胸を張る。これはまた、さらに建築コストが上がりそうだなと不安にはなりますが、新木場を代表する、さらには木材業界を代表するような建物が完成し、建築業界誌にでも掲載されれば大きな宣伝効果があります。見学者も来てくれるでしょう。木材の街、新木場の復活です。

MAKE SHINKIBA GREAT AGAIN

このキャッチフレーズを掲げる当社の猛暑日は当分続きそうです。

